



つわの

12月定例会

議会だより

平成27年 第10回定例会

- 新春を迎えて 議長挨拶 2
- 一般会計補正予算 3
- 条例の制定・一部改正 4
- 一般質問 5~9
- 所管事務調査報告 10
- 請願・賛否表 11
- この人にインタビュー・編集後記 12

No.41 (2016)

平成28年1月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：津和野印刷

成人を迎えた若者たち (2016年1月3日)

津和野町成人式にて



新春を迎えて

津和野町議会

議長 沖田 守

明けましておめでとうございます。皆様には初春をお健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年中は津和野町議会に、一方ならぬご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今日、全国的な人口減少が進み、町の存続さえも危ぶまれております。国は「まち・ひと・しごと」創生法を成立させ、各自治体に将来の人口ビジョンと総合戦略の策定を義務づけました。津和野町では1月末を目途に計画を策定いたします。

町民にとって将来に夢が持て、津和野に住み続けたいと感じられる計画でなければなりません。私たち議員も新たな時代感覚と崇高なビジョンを持ち、この一翼を担っていく所存であります。

昨年も異常気象により、国内外で大きな災害が発生いたしました。尊い生命が奪われ、多くの財産が失われたことは、誠に痛ましいことです。しかし、津和野町の一年を振り返りますと、青原小学校新築、合併十周年。そして、一番喜ばしい出来事は「津和野今昔―百景図を歩く」が日本遺産に認定されたことです。

幕末の風景や街並みに出会え、当時の生活文化を肌で感じることできる町。それが津和野の魅力です。この魅力を津和野町民として全国に発信し、歴史、文化の遺産に大きく貢献したいと思います。

この歴史環境を維持し、なお一層、我が津和野町の発展に、町当局と手を携え鋭意渾身、努力していくことを新年の誓いいたします。

今年一年、皆様方のご健勝とご多幸を、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十八年 正月

平成27年度 津和野町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億8719万8千円を追加し、
歳入歳出の総額をそれぞれ96億1254万円とする。

歳出の主なもの

・津和野高校支援業務担当地域おこし協力隊2名の委員報酬	128万円
・高齢者向けテレビ見守り・買い物支援サービス事業委託料	329万円
・口屋橋バス待合所整備工事	391万円
・木尾谷町営バス待合所設置補助金	10万円
・社会福祉法人つわの清流会設立登記手数料	30万円
・社会福祉法人つわの清流会設立業務委託料	40万円
・社会福祉法人つわの清流会基本財産・運用財産	1700万円
・直地児童館への給食搬出用、日原保育所外構工事	117万円
・医療費増加による生活保護医療扶助費	1500万円
・日原賑わい創出拠点作り事業委託料	99万円
・日原賑わい創出拠点作り設計監理委託料	128万円
・町家ステイ2号物件の機械器具費	300万円
・駅前第2駐車場の法面擁護設置工事	154万円
・津和野駅一帯デザインコンペ設計監理委託料	153万円
・町道城山線道路改良工事増額	1210万円
・町営住宅給湯機器等修繕料	205万円
・青原団地ストック改善事業費の増額	300万円
・防火水槽設置工事費の増額	198万円
・日原小学校屋内運動場天井撤去・側溝改修工事	4000万円
・永明寺周辺測量業務委託料	87万円
・森鷗外記念館「鷗外の庭」植栽工事費	269万円
・安野光雅美術館防犯カメラ設置工事費	182万円
・火の谷分谷線災害復旧工事費	727万円
・農地農業用施設災害復旧工事費の増額	8741万円

歳入の主なもの

・安野光雅美術館グッズ売り払い収入	1000万円
・緊急防災減災事業債(日原小学校天井撤去等)	3250万円

賛成討論

- ◎保育士不足による保育園統合計画も、社会福祉法人に移管することで6名の保育士の応募があり、存続が可能となった。町立保育園はほとんど交付税措置がないと思われるため、民営化により保育園に補助金が交付され、来年度以降、厳しい町の一般財源が数千万円歳出削減できる。
- ◎口屋橋バス待合所の利用者は、ほとんどが日原中学生であり、中学生から負担金を徴収することもできず、地元負担金を徴収せずに町で建設することはやむをえない。

条例制定・改正

●津和野町個人番号の利用等に関する条例の制定

マイナンバー制度に伴う制定

●津和野町空き家等の適正管理に関する条例の制定

空き家等の適正な管理を行い、町民の生命、財産を保護するための制定

●津和野町私債権の管理に関する条例の制定

町の私債権の管理を適正に事務処理するための制定

●津和野町職員の再任用に関する条例の一部改正

共済組合法を厚生年金保険法に組み替えるための一部改正

●津和野町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

被用者年金制度の一元化等に関する厚生年金保険等の改正に伴う条例の一部改正

●津和野町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

被用者年金制度の一元化等に関する厚生年金保険等の改正に伴う条例の一部改正

●津和野町税条例等の一部改正

マイナンバー制度に伴う改正

●津和野町介護保険条例の一部改正

マイナンバー制度に伴う改正

【全て可決】



全員協議会

12月16日、全員協議会が開かれ、美しい森林づくりと、木質バイオマスガス化発電所を中心としたサプライチェーン構想の説明があった。

津和野町地域再生計画策定事業で、計画では、2016年度中に民間による発電所運営会社の設立、その会社による木質バイオマスガス化発電所、ストックヤード、ペレット製造施設等を建設し、2017年度中に地域電力会社を設立する計画などが報告された。

この計画では、まず自伐型林家や素材生産業者から供給される木材（年間1万2000t）を燃焼し発生するガスにより発電し地域電力会社を通じて地域や公共施設に送電する。ガス化発電所から発生する大量の炭は、地元畜産農家から生産される牛糞を混ぜ合わせた有機肥料を作り、有機農業実践者へ、ガス化発電所から発生する熱は木材乾燥に利用する。

町内から出る使用済み天ぷら油等の排油をバイオディーゼル

燃料化（BDF化）し、木材をチップにするチップパーの燃料として活用する。

これらの一連の流れをサプライチェーンと言う。今後、地域再生計画策定協議会等で詳細な計画を策定する予定であることが報告された。

議会からの主な質問

●10億円の予算をかけて事業を立ち上げる民間事業者が本当にあるのか。

●厳しい町財政の中で、多額の財政負担を行い、木質バイオマスガス化発電が安定した経営ができるのか。

当事業に対して、慎重な対応を求める意見が多く出た。



総合戦略策定の進捗状況は

1月末までに策定



議員 板垣敬司

問 まちひと・しごと創生総合戦略について、どのよう

な進捗状況になっているか。今年、3月補正予算の先行型交付金と来年度以降の「地域の元気創造事業費」、「人口減少等特別対策事業費」が本町の描く戦略に、どの程度反映される見通しか。

町長 先行型交付金（3541万8千円）については、戦略策定事業、自伐型林業推進事業、米価急減影響改善事業や子育て支援タクシー事業、地域医療視察ツアー事業などに取り組んだ。「地域の元気創造事業費」は人件費の削減や行政改革、地域の経済活性化の成果に反映されるもので、26年度の交付税から、又「人口減少等特別対策事業費」は、27年度から人口増減率等の指標で配分された。合計2億1300万円の交付を受け、定住対策やまちづくり施策に充当した。

問 2060年の目標人口4816人が示された。中期財政計画の

下での行財政改革や定員管理計画、人事評価制度等はどうのように進めるのか。

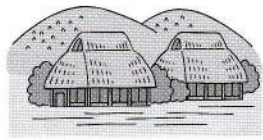
町長 135名の定員管理計画に対して、災害復旧等で142名となっている。今後の進捗を見据えたうえで適正化や人事評価制度に取り組む。

問 地域提案型助成事業の交付対象を12のまちづくり委員会から、さらに拡大して目的や計画を一つにする住民組織にすることが、総合戦略に繋がると思う。次年度以降、見直す考えはないか。

町長 12のまちづくり委員会と公民館が連携して地域全体の課題解決のためにソフト事業を立ち上げた。当面、この制度で取り組みたい。

問 永明寺や各旧居等、茅葺屋根の修復・維持に茅の確保に取り組むことを提案したい。

町長 検討していきたい。



日原小学校屋内運動場天井撤去工事の対応は

入学式後より着工予定



議員 後山幸次

問 天井の構造が不備と判断され、6月議会に天井撤去

去工事設計委託料500万円が提出された。

崩落の危険性があるから予算を計上されたのではないのか。山梨県中央自動車道の笹子トンネルで天井崩落事故が起こり車3台、9名の犠牲者が出た痛々しい事故から3年が過ぎた。子ども達を危険から守るためにも一日も早い改修が望まれる。夏休み期間中での工事施行ができなかった理由は。また、12月議会で工事費が計上されているが、年度内完成は可能か。

教育長 天井撤去工事は10月28日、桂設計研究所が落札し、工事発注は今議会で予算を議決されれば年明けに指名審査会を行い、早くても2月上旬の着工となる。小学校との協議で行事の少ない一学期の間にと要望があり、学校運営を最優先に考えると工期設定を繰

越事業として、議会で承認されれば入学式後の現場作業になると考えている。

Q トランジットモールは

県道昇格を実現させたい

問 津和野駅よりなごみの里まで、国交省の「トランジットモール」地区に登録されているが、区内に町道萩津和野線があり、未改良である。この場所は地元自治会より請願も提出され、採択もされている。県と協議され、早急に対応するべきでは。

町長 沿線を対象にミニ国土調査を実施。29年度未完了。同時に県道柿木津和野停車場線中座バイパス共同開始が平成30年当初であり、それまでには県道昇格を実現させたい。

【その他の質問】

○殿町インターロッキング舗装の修復

○殿町水路汚濁防止対策

○駅前周辺整備計画

○冬虫夏草

Q 稲成神社への町道整備を進めるべきでは
A 離合困難箇所の拡幅改良を行い、渋滞解消を行う



岡田克也議員
問 年間80万人の参詣がある町内随一の観光地の太鼓谷

稲成神社への町道城山線の修復、改良を行うべきでは。

町長 離合困難箇所の拡幅と側溝整備・舗装改良を行う。危険判断の場合、ガードロープや構造物の改良・修繕を行う。

Q 鮎不漁の日原地域の振興策も図るべきでは
A 高津川・枕瀬山森林公園を中心とした振興を行いたい

問 今年度は鮎が極めて不漁であり、日原地域も経済的落ち込みが予想される。鮎の増加対策、高津川・日原天文台・ペンション北斗星等の資源を活用した振興を図るべきでは。

町長 禁漁効果により、昨年の倍の約10億匹の流下仔魚数となる予想。ペンション北斗星は評判も良く、施設の老朽化に対し、修繕が必要である。

Q 中学生対象公営塾の現状と津和野高校の志願状況は
A 中学生コースは61名、津和野高校志願者は60人台を予想

問 公営塾の現状と課題は。

町長 中学生は学習習慣の定着と学習方法の習得を目指す。津和野高校志願者は、全国募集の県外入学者は増えるが、町内・圏域の生徒減少により、今年度は減少見込みである。

Q 地方交付税減少対策は
A 行財政改革の精度を高める

問 平成28年度から段階的な合併特例並びに国勢調査の人口減少による地方交付税の大幅削減に対し、事業の取捨選択、歳出削減を行うべきでは。

町長 優先施策に集中的投資を行う。定員管理を厳密に行い、計画的繰上償還を行う。

Q 生活困窮者への支援対策
A 自立相談支援事業等を実施

問 当町の生活困窮家庭への支援、生活保護の現状は。

町長 新たな保護開始3世帯4人、保護廃止6世帯8人である。自立相談支援事業や就労支援員を雇用した。就労支援、ジェネリック医薬品使用、頻回受診防止対策を実施。

Q もっと、マイナンバー制度の周知を
A 周知、啓発をはかる



寺戸昌子議員
問 町の情報漏えいの防止対策はできているのか。

町長 今後、さらに厳しいセキュリティレベルを維持していく必要が出てくるため、庁内ネットワークの見直しも含めて検討していきたい。

問 町民からこの制度は、分かりにくいと声が出ている。詐欺被害にあわぬよう注意を呼び掛けるべきではないか。

町長 管内で詐欺事件が発生している。警察等関係機関と連携を密にし、今一度、周知、啓発を図る。

問 住基カードとの違い、住基カードの今後の取り扱い。

町長 住基カードは行政が個人を管理するためにできた制度。マイナンバーカードは国と市町村を結ぶために作られた制度。今後10年間取り扱いは、有効。しかし、マイナンバーカード発行の際、返してもらつた。

Q 生活困窮者の相談状況は
A 4月から9月までで17件

問 町へ経済的な困窮の相談はどの程度あるか。

町長 本年4月から生活困窮者自立支援事業を社会福祉協議会に委託し、相談支援を実施している。9月までに17件の相談があった。今後も社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携し、相談者の自立した生活が営めるよう支援していきたい。

問 各課が連携して同じレベルで困窮者を認識し、支援する場はあるか。

町長 4月から制度が始まっている。生活困窮者の町内連絡会議を設置している。窓口相談に来られる方に対し、他の課でも連携がとれるよう、申請に来なくても困っている方を必要な相談に繋げる形に取りこんでいきたい。ハローワーク等も協議体として検討していきたい。



Q 固定資産台帳を作 成すべき 29年3月末までに A 行う



三浦英治議員

問 固定資産台帳整備業務の進捗状況は。

町長 台帳は住民等に対する説明責任、民間事業者の参入促進といった観点から作成後は、その公表が前提となっている。28年3月末までに構築する。9月に各課からの委員による作業部会を立上げ、推進体制を確立した。

問 公共施設等の老朽化対策にも活用可能な台帳を早期に作成する必要があると思うが。

町長 整備後は、現況把握と更新費用を調査し、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う。町政負担を軽減・平準化し、公共施設等の最適な配置を実現し、抱える諸問題への対応をすることを目的に、29年3月末までに公共施設等総合管理計画を策定する。

Q 民営化に伴う木部保育園・直地児童館の社会福祉法人 つわの清流会の移管準備は 設立のための審査会が1月 に開かれ、了承されれば県 知事へ認可申請を提出する A

問 名称や職員体制は。

町長 木部保育園は、「木部さつやま保育園」。直地児童館は「直地保育園」となり、現在の公立で運営している状況と変わらない体制で考えている。それぞれ常勤保育士3名、パート職員3名程度、木部保育園には調理師1名。直地保育園は、日原保育園からの給食の搬入とトイレ水洗化等の改修工事を行う。

問 民営化に伴う町の負担は。

町長 基本財産として1000万円、運用財産として700万円を支出することとし、今回の補正予算に計上した。収支不足は、児童数さえ予定どおり確保できれば解消される。

問 公営と民営の違いは。

町長 基本的に決まったサービスの違いはない。急激な変化による児童への影響を考慮し、当面は公立保育園のサービス内容を引き継ぎ、法人としての新たなサービス等を少しずつ取り入れる。

Q 合併10年を検証の上 での総合戦略は 「若い女性が住みた いまちづくり」を基 本視点とする A



京村まゆみ議員

問 合併の成果と課題をどうとらえるか。

町長 財政指標の改善や財源確保など財政の健全化と、協働のための組織基盤構築が進んできた。新町の一体感の醸成も相当進んできているが更なる一体感をはかる。その上で「若い女性が住みたいまちづくり」を基本視点とし、町の総合戦略を1月中に策定する。

問 課題やマイナス面が実感されていないように感じる。新たな戦略のためには謙虚に厳しく自己評価が必要。私は合併によって当事者意識、おらが村意識が薄れ危機感がなくなつたと考える。町民が自分事と考えられるような戦略の柱が必要。わが町が柱に据えるものは何か。

町長 行政側は常に危機感を持ち続けてきたが、それが町民に共有されるよう努力する。まちづくりに教育、人材育成が重要だと認識

している。どういう施策としてあらわすか検討段階である。

Q 行事・式典を工夫 し改善を より良い行事となる よう検討していく A

問 10周年記念式典の一般町民参加者3名。町民不在の形式に終始したお祝いになったよう残念だ。周知の努力は。また式典内で紹介されなかった文化功労者4名の紹介が無かったのはなぜか。

町長 テロップ放送で周知した。4名の方は当日欠席のため式典後に感謝状を贈呈し町広報誌にて周知した。

問 広報掲載もひと月遅れ。また町表彰式も3年前の質問で改善を求めたが変わらない。感謝するという原点に返り周知方法など再度工夫を求める。

町長 配慮が足りないところは反省し改善していきたい。



Q 人口4816人で、行政サービスは維持できるか

A 可能である



川田 剛議員 問 人口ビジョンに関して、平成72年の目標人口を48

16人に設定したが、その人口で津和野町の行政サービスは維持できるのか。また、集落においても維持できる人口と考えてよいのか。

町長 単純計算はできないが、目標人口である4816人は合併前の旧日原町の人口とほぼ同規模である。このことから、行政サービスは維持できると考える。また、自らの住む地域の維持と活性化に取り組む人がいる限り集落の維持は可能である。

問 総合戦略に盛り込む内容は新規に実施するものなのか、それともこれまでの事業の継続や拡充等を盛り込み策定するものなのか考え方を問う。

町長 人口ビジョンと原則を踏まえた上で、それぞれの地域で住みよい環境を確保する施策を総合的かつ計画的に実施するために「若

い女性が住みたいまちづくり」を基本視点とし、現在実施している事業の継続及び見直し、そして新規事業も加えた戦略を策定していく。

Q 今後マイナンバーカードがあれば全国のコンビニで住民票が発行できるようになるのか

A 当町では実施する予定はない

問 津和野町内において、マイナンバーカードでどのようなサービスが受けられる予定なのか。またその財源や予算はいくらを見込んでいるのか。

町長 当町においては情報を効率的に管理するために利用されるものであって、コンビニ等での住民票や印鑑証明書等発行サービスなどを津和野町において実施する考えはない。

なお、コンビニでの発行サービスを導入する場合、2000万円以上の負担金等がかかり、これまで発行してきた実績と費用を鑑みたとき、負担金を出してまで行うサービスではないと考えている。公民館等で住民票や印鑑証明書等を発行することも同様に考えていない。

Q 民俗芸能継承継続の支援底上げ
日本遺産構成要素等の価値もあり検討する



米澤 文議員 問 町の民俗芸能助成金は17団体で50万円である、配分

は活動割と指定割で最多が10万2000円、最少が1万7000円である。開催経費の殆どを寄付に依存している。人口減少で寄付も難しくなり、民俗芸能継承継続不能の事態もあるが。

教育長 日本遺産の構成要素等新たな価値も加わり今後各団体の活動状況を踏まえ補助金のあり方を検討する。

Q 鷲原公園流鏝馬馬場を国指定史跡昇格の申請を

A 国指定には資料不十分。今年度は「永明寺」を整備

問 流鏝馬馬場は450年前に当時の城主吉見氏が造営、昭和41年の県指定から50年が経過する。整備に多額の費用の為に国指定申請をするべき。

教育長 26年度に文化庁調査官が来町時、現在の資料では不十分、中世の馬場を検証必要の指摘あり、調査を継続していく。

Q 旧サン電子工場跡の買取り予定は現時点では購入予定はない

問 サン電子工業は昭和44年誘致企業で、流鏝馬馬場の隣で操業開始。昭和61年撤退。跡地は流鏝馬・花火大会駐車場・地域の親子の集い・観光駐車場等として重宝されている。敷地内には借地で町公衆トイレが建っている。賃貸借契約終了又は売買成立時大きな負担が予測される。

町長 賃貸借契約書に契約満了時地上物件を撤去の項があるがトイレ部分は購入の協議をする。

Q 資源ごみの各戸回収は自治会等の協力で回収につなげる方法を

問 高齢者や交通弱者は資源ごみの新聞紙等を遠い指定場所に運搬できない。各戸回収又は小字単位での回収はできないか。

町長 各地域のまちづくり委員会を活用し、自治会等の協力で回収に繋げる方法に取り組んでいただきたい。

Q 「津和野栗」生産増加は将来的には増産を目指す



議員 問 平成27年6月「津和野栗再生プロジェクト推進協議

会が設立され、5か年計画で6次産業化し全国へ地域ブランド品として流通する体制作りを開始したが、今後現在の生産高13tから増産する考えはあるのか。

町長 13tから5か年計画で30tまで増産を目指すつもりである。

問 来年度より生産、加工、製造、販売と計画が実施されるに伴い資本投資が行われるが「経営主体」は。

町長 経営主体と実施責任の問題が表面化してくるが、将来的には法人格等を備えた団体、企業などが事業の実施主体になることを町として望んでいる。

問 現在「津和野栗」の出荷時には「西いわみ栗」として一括処理されている。5か年計画完成のおりには「津和野栗」の名称ブランド化で全国へ発送の予定。名称の統一化を急ぐべきだが。

町長 今後は津和野式の「耕種基

準」を設けてブランド化を図るべきと考えており、選果の際に分別が必要である。「津和野栗」の価値の向上にも繋がり、国、県の支援を受け着実に取り組むつもりだ。

Q 公営塾中学生の部の活況は盛況である

問 秋口開講した「公営塾HAN-KOH」の中学生の部の活動状況は。特に日原方面からの生徒バス運行状況は。

町長 中学生入塾者数は12月現在61名（津和野中22名、日原中39名）で、授業は月、水、金曜日とし各学年別に構成。29人乗りの無料送迎バスを使用、定員超過の時ジャンボバスの借り上げで対応。自習支援も行っている。

Q 将来の町の姿を広報可能か人口確定できないため困難

問 人口目標短2020年、中40年、長期60年の町の姿を広報すべきでは。

町長 当町総合戦略、人口ビジョンのダイジェスト版各戸配布予定。情報提供し理解を求めたい。

Q 保育園等民営化に係る協議の進捗状況は県へ社会福祉法人設立の事前協議書（案）を提出



議員 問 6月定例会で保育園運営費の試算で、2園合計で年

間1000万円から1500万円程度の収支不足が発生するとしていたが、収支予算書上での収支不足額はいくらか。また、民営化で財政負担が軽減されるとしているがどの程度見込めるか。

町長 民営化後に児童が予定数のとおり入園するのであれば、国等からの地域型保育給付費の収入が年間4000万円から5000万円あり、町からの補てんは必要なくなる可能性もある。

しかし、民間保育園に対する地域型保育給付費の負担が4分の1あるので1000万円程度の支出が発生することになる。

Q 豪雨災害の復旧状況と今後の展開は全工事箇所の工期内就航を目指す

問 災害復旧工事については、平成28年度末が竣工期限となっている。工事の契約並びに竣工状況は。また、これから発注する工事の期限内竣工の見通しは。

町長 平成27年11月末現在の工事進捗状況は、工事箇所604箇所に対し、契約済486箇所（80.5%）、工事完了329箇所（54.5%）となっている。また、今年度末においては、全体で457箇所（75.7%）の工事が完了の見込みである。

今後、発注する工事については、91箇所を予定しているが、それらすべてを今年度中の契約締結、平成28年度末までに全箇所竣工を予定している。

問 災害復旧工事に伴う町道の路面の損傷についてその対応は。

町長 認識をしている。補修工事について、災害工事が一段落する来年度以降において予算化する計画になっている。年度当初からの補修工事ではなく、災害復旧工事が完了した以降において、順次、路面補修工事を計画することになっている。

今しばらくの間、ご容赦を頂きたい。

所管事務調査報告

★総務経済常任委員会

特産の栗等による農業振興

第1回

日時 平成27年10月14日

場所 JAくま本所 選果場

出席者 熊本県球磨地域振興局

参事 田中雅晃・JAくま宮

農部指導販売課 守公一郎・

(株)クマレイ取締役専務 高橋

幸一郎

委員 岡田・御手洗・後山・

三浦・丁・草田

調査意見

JAくまの栗生産の26年出荷量はJAくま共販700t。その他の出荷を含めた全体で1000t。栽培面積1038ha。生産部会員1300人。反収約100kg。収穫の多い農家300kg。栗の圃場は山間部が大幅に減少している。栗農家は多品目との複合経営や兼職が多い。圃場の改植は16万円の国庫補助、苗購入補助がある。シルバー人材センターの剪定講習受講者による剪定も行っている。鳥獣被害についてはイノシシ、鹿、猿の被害が中心で、対策として

国庫補助事業を活用して侵入防止柵を設置している。(株)クマレイにおいて栗加工はペーストのみで、加工量は栗ペースト70t、大学芋150t、紅芋ペースト150t、冷凍ほうれん草1000tで、栗ペースト販売先は主が名古屋や北海道の菓子メーカー・六花亭である。従業員数50名、平成24年3月には年間販売高6億円を達成されている。

第2回

日時 平成27年11月9日

場所 津和野町役場第2庁舎

出席者 JA地区本部長 橋本

正嗣・宮農部指導販売課長 川

上幸夫・栗生産部会会長 青木

昭親

委員 岡田・御手洗・後山・

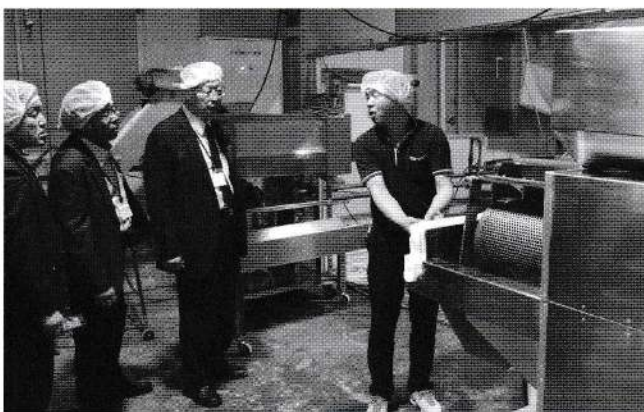
三浦・丁・草田

調査意見

津和野栗は全国的に評価が高く、西いわみ管内で100tもあつた生産量も13t程度に落ち込んでいる。生産者の高齢化が進み、産地として危機的な状況である。栗の需要は多く西いわみ地区で30トン生産しても余ることはない状況であり、町とJAが連携して増産に取り組むべきである。観光地である当町に

とって遊休農地に栗の植栽は栗の増産のみならず、景観対策にもなる。補助制度も創設して遊休農地への植栽を奨励し、栗生産部会による指導体制の構築により、新規就農者や農家、土地所有者等への栗の栽培を奨励するべきである。

産業の乏しい当町にとって津和野栗は農業、産業振興のひとつの核となる可能性を秘めており「ふるさと応援宣言」の採択も追い風である。官民協働で栗の増産体制の確立、六次産業化に向けて着実に進めていくべきである。



(株)クマレイ栗加工機械見学

*文教民生常任委員会

保育園民営化並びに障害者福祉

日時

(第1回) 平成27年10月15日

(第2回) 平成27年11月12日

場所 津和野町役場第2庁舎

出席者 健康福祉課長 齋藤

等・課長補佐 土井泰一

委員 米澤・京村・板垣・川田・

寺戸・議長 沖田

調査意見

新設される社会福祉法人つわの清流会は、平成28年4月から本部・直地の保育園事業を行う準備をしているが、町は運営が軌道に乗るまで財政支援をしていく方針である。しかし、小規模保育園2園のみを民営化することが、町全体の子育て支援や福祉財政にどう影響していくのか中長期的な方向性など、もう少し調査が必要である。また、新たに建設予定の障害者施設及びB型事業所についても同法人が運営主体となるが、施設の規模などについて、圏域の関係機関との連携、また利用者のニーズ調査など数字的裏付けが必要である。よって、3月までの継続調査とした。

新町建設計画の変更

旧津和野町と旧日原町合併の平成17年2月に制定された新町建設計画は、合併後10年間についてのものである。

東日本大震災を受け、平成24年改正された合併特例に関する法律で、合併特例債の発行期限が5年間延長となった。

本町においても引き続き特例債を32年度まで5年間延長した計画に変更するもので、町の地域審議会にはかつたうえで議案提案された。

全員賛成で可決

請願

【国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求める請願】

請願者

島根県保険医協会会長

岩田 兼正

紹介議員

寺戸 昌子

医療保険制度改革関連法の成立に伴って、国に対し「国民皆保険制度の維持・発展を求める意見書」の提出を求めるもの

不採択（賛成少数）

専決処分

平成27年9月10日に発生した公用車による自動車事故に伴う損害賠償額の確定の報告

損害賠償の額

20万3600円

損害賠償の相手方

堀建設株式会社

全員賛成で承認

◎議会放送等に対するアンケート調査について

前号に掲載したハガキで町民の皆様のご意見を集めております。
引き続き様々なご意見をお待ちしております。



第10回 12月定例会 賛否表

○=賛成 ●=反対

提出者	後山	川田	米澤	岡田	草田	丁	寺戸	御手洗	三浦	京村	板垣	結果
新町建設計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町個人番号の利用等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
津和野町空家等の適正管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町私債権の管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町職員の再任用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
津和野町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町奨学基金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町電気通信事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求める請願	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	不採択
第9回 11月臨時会												
町長 平成27年度青原団地ストック改善工事(第2期)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
津和野町営バス運行に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

この人に4!!
インタビュー

想いを音楽で伝えたい



郷土の音楽家 柳井 勇さん

***音楽を始められたきっかけはなんですか。**

柳井 小学校、また高校の音楽の先生に恵まれたこともありですが、十九歳の頃、友達のだらむを借りて練習を始めたことで本格的な音楽に取り組むようになりました。その後、地元神社の宮楽師を引き継ぐため笛や太鼓を習ったり、ある雑貨店でアンデスの縦笛(ケーナ)やアフリカの打楽器に出会ったこと、それぞれに精通した人たちから学ぶ機会を得たこと、そして良き仲間と出会えたこと、などが大きなきっかけとなり、グループ(グループ・ピエントス)など活動や、個人での演奏・作曲活動へと繋がっているように思います。すべてが、人との出会いのおかげで今があると感謝しています。

***創作される楽曲の原点は何ですか。**

柳井 生まれ育ったふるさとの

生まれ育った郷(程彼)で農業をしながら音楽活動をしてもらえる柳井勇さん。ドラム、パーカッションなどの打楽器とアンデスのケーナ、日本の篠笛などの笛類を主として演奏し、現代的な音楽から民族的、伝統的な音楽まで表現する。個人としての音楽活動は非常に幅広く、さまざまな人たちの共演は数多い。

また、郷土の音楽、芸能をとっても大切に扱っており、継承に尽力している。現在は笛や打楽器等の講師活動も行っている。今回2008年に発表したオリジナルソロアルバム「音手紙」というCDに続く第2弾「命通う道」を発表。

山・川・空・たんぼや畑の風景、風の音、水の音、昔から引き継がれている祭りや習わしなど自然や人々の営みすべてが原点にあると思います。

***CATV「サンネット」にちはらのテーマ曲についてお聞かせ下さい。**

柳井 現在流れているのは「太陽とみなな」という題名で、楽器だけの演奏となつていますが、今回発表したCDには歌の入ったバージョンも収録しています。

***今回発表されたCDと前回のCDの違いはなんでしょうか。**

柳井 前回は想いを込めた「音楽」を届けたいと思いましたが、今回は、自然や暮らしの中で齢を重ねて深まった「想い」を音楽に乗せて届けたいと思いました。

***音楽以外の趣味はなんですか。**

柳井 写真を撮るのが好きです。将来は写真集とCDを組み合わせ

せた作品を作ってみたかな、と妄想しています。今回のCDにも自分で撮った写真を使ってみました。

***今後の音楽活動についてお聞きします。**

柳井 日々の暮らしや出会いを大切に、あまり欲張らず、それでも自分の奏でる音楽が、何かの役に立てるように活動したいです。

***議会に望むことがありますか。**

柳井 地域に残る文化や芸能が継続していけるような地域づくりを期待しています。

***ふるさとの暮らしや自然、人との出会いを大切に活動されている姿には心打たれるものを感じました。今後のご活躍をお祈りいたします。**

聞き手：草田吉丸

編集後記

▼冠婚葬祭の「婚葬祭」は見えて分かるが、「冠」とは何か。冠婚葬祭は、元服、婚礼、葬式、祖先の祭祀のことをいうらしい。つまり冠は元服・成人式を指す。▼1月3日、津和野町成人式が行われた。スーツや振袖を身にまとった彼らが生まれた年は、1995年。この年の1月、阪神淡路大震災が発生した。そして3月、地下鉄サリン事件が発生した。▼あれから20年。我々は自然災害の猛威を幾度と無く経験してきた。テロが起きるのはテレビの向こう側のことではないと気づかされたのだ。▼町内では、自主防災組織の結成や、防犯カメラの設置など、「自分たちの身は自分たちで守る」という意識がだんだんと高まっている。今後、防災無線も整備される。▼「守られる立場」から「守る立場」に変わった新成人。多くの権利と義務を負う立場にもなる。まずは李下に冠を正さず、志をもって邁進して欲しい。

川田 剛

議会広報編集委員

◎岡田 克也 ○川田 剛

後山 幸次 京村まゆみ

草田 吉丸 寺戸 昌子